

講義科目名称： 疫学Ⅱ

授業コード： 2220101200

英文科目名称： EpidemiologyⅡ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	看護師課程自由選択、保健師課程必修
担当教員			
◎立瀬剛志			
添付ファイル			

授業種類	<p>【開講】 後期</p> <p>【授業時間】 15時間</p> <p>【担当教員】</p> <p>【氏名】 ◎立瀬 剛志</p> <p>【研究室】 富山大学</p> <p>実務経験のある教員が担当します。</p> <p>【本学の科目区分】 専門基礎科目</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程、保健師課程</p> <p>【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】</p> <p>◎</p>
------	--

到達目標	<p>1. 疫学の方法論を学び、疫学指標や科学的根拠を活かす意義を理解する。</p> <p>2. 集団の健康状態について疫学的データを用いて分析し、解釈できる。</p> <p>3. 公衆衛生活動を疫学・社会医学的視点から評価することができる。</p>
授業概要	「疫学Ⅰ」で学習した基本の応用という位置づけとして、学術雑誌、疫学調査データ、国家試験問題などの具体例を交えて説明をする。講義形式を基本とするが、疫学の健康指標については実際に計算を含めた課題について取り組み、理解を深める。
授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学の概念 学習内容：疫学の概念 備考：立瀬</p> <p>2 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：集団の健康状態の把握 学習内容：疾病頻度の指標、曝露効果の指標 備考：立瀬</p> <p>3 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学的研究方法 学習内容：疫学的研究方法 備考：立瀬</p> <p>4 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疾病の予防とスクリーニング、各種厚生指標 学習内容：スクリーニング、厚生指標 備考：立瀬</p> <p>5 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：おもな疾患の疫学 学習内容：おもな疾患の疫学 備考：立瀬</p> <p>6 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：疫学と公衆衛生看護 学習内容：社会疫学（社会構造が健康に与える影響）、政策疫学（ハイリスク・アプローチ、ポピュレーション・アプローチ） 備考：立瀬</p> <p>7 授業内容 授業形態：対面授業 学習課題：保健統計学 学習内容：疫学で使用する量的統計学 備考：立瀬</p> <p>8 授業内容</p>

	授業形態：対面授業 学習課題：まとめ 学習内容：１－７回目までの確認 備考：立瀬
事前・事後学習	事前学習：あらかじめ該当箇所について周知するので、事前に教科書または資料を確認する。（20分） 事後学習：講義後に教科書と資料を見直すこと。（20分） 「疫学Ⅰ」を履修済みであることを前提として講義が進行すること、また、同時に開講されている保健統計学は関連科目であり必要な知識であることに留意する。
評価方法、評価基準	本試験（100%）
必携図書	・基本からわかる看護疫学入門 ，医歯薬出版.
参考図書・資料等	・はじめて学ぶやさしい疫学、日本疫学会標準テキスト、日本疫学会 ・楽しい疫学 医学書院 ・社会的健康決定要因～健康政策の新潮流、日本公衆衛生協会
受講、課題、資料配布等のルール	資料は講義の際に適宜配付する。
教員からのメッセージ	疫学は、人間集団を対象としてより多くの人に合う解決方法を提案する実践の学問であり、「根拠にもとづく医療・看護（EBM/EBN）」の根拠として重要な科目です。そして医療や公衆衛生の基盤となり、近年ではあらゆる分野に活用されてきています。特に公衆衛生分野では、集団の健康上の問題点を明らかにして、有効な疾病予防と健康増進施策を講じる主要な方法論として使われています。「疫学Ⅱ」は、「疫学Ⅰ」で学んだことの応用として、国家試験問題や学術雑誌、実際の疫学調査の例を交えて解説し、公衆衛生看護活動に疫学的視点を活かせるようになることを目指します。
オフィスアワー	—